

2年上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
4月	じゅんばんに ならぼう 1時間（話・聞①） ◎興味をもって、大事なことを落とさないように聞くことができる。（話・聞(1)エ、伝国(1)イ(ア)） ■声をかけ合って協力しながら目的に沿って並ぶ。	1	1 学習の見通しをもつ。 ・扉の詩を読み、目次を見て、上巻の国語の学習を見渡す。 2 「じゅんばんにならぼう」の説明を聞く。 3 ゲームをしながら、どうしたら、正確に並ぶことができるのか考える。 ・大事なことを落とさないように聞く。 ・自分の場所を見つけるために、声をかけ合う。	【関】 進んで友達と声をかけ合ったり、聞くようにしたりしている。 【話・聞】 何の順に並ぶのかを、集中して聞いている。 【言】 言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。
4月	1 おはなしを 音読しよう ふきのとう 10時間（読⑧、書②） ◎「人物」をもとに役に分かれ、語のまとまりや響きに気をつけて音読することができる。（読(1)ア、伝国(1)イ(カ)） ○場面の様子について、人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読むことができる。（読(1)ウ） ○本文中の文型を参考にして、つながりのある文を書くことができる。（書(1)ウ） ■音読する。 ☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材（道徳・生活科）	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 学習の見通しをもつ。 ・今までの音読の学習について振り返る。 ・教師の範読を聞き、「じんぶつのようなすやしていることに気をつけて音読しよう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。 2 教材文を読み、感想を交流する。 3 登場人物と、登場のしかたをつかみ、行動と会話を整理する。 ・人物を登場順に整理する。 ・人物の行動と会話から、様子を想像する。 4 教材文の中から好きなところを書き抜き、そのわけを書いてグループで読み合う。 5 グループで役割を決めて音読する。 ・会話文とその前後の文を読んで、読み方の工夫を考える。 ・自分が感じた気持ちを織り込んで楽しく音読する。 ・グループごとの音読の前に、互いの音読を聞き合い、感想を伝え合ってもよい。 6 グループごとの音読を聞き合い、読み方の工夫について感想を伝え合う。 7 学習を振り返る。 ・どんな人物が、どんな順序で、どのように登場したかをまとめる。 ・お話を音読するときの工夫についてまとめる。 8 P19「書いてみよう」の絵を見て、「一と、～。」文型を使って文を作る。	【関】 物語を読み、音読のしかたを工夫しようとしている。 【読】 ・内容的なまとまり、繰り返しのリズムなどを楽しんで読んでいる。 ・時、場所、登場人物に注意して、おおまかな話の流れに気づいている。 【書】 絵を見て、つながりのある文を書いている。 【言】 主語・述語のまとまりで読んでいる。
4月	春が いっぱい 2時間（書②） ◎春に関わる言葉を探し、経験と結び付けて文章に表すことができる。（書(1)ア、伝国(1)イ(ア)） ■春を感じる言葉を探し、経験を文章に表す。 ☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材（道徳・生活科）	1 2	1 教科書の絵を手がかりに、春に関わる言葉を探す。 2 詩を音読する。 3 どんなものを見たときに、春の訪れを感じるか発表する。 4 春を感じたときの経験を文章に書く。 ・見つけたものやそのときの気持ちなどを、カードに書く。 5 書いたものを読み合い、感想を交流する。	【関】 季節の動植物に関わる言葉を楽しんで探している。 【書】 春を感じた経験を思い出して、文章に書いている。 【言】 季節の動植物や、季節を感じる言葉を探している。
4月	今週の ニュース 4時間（書④） ◎友達に知らせるために、身近な出来事から書くことを決め、出来事の様子や自分の気持ちを書くことができる。（書(1)ア、伝国(1)イ(ア)） ○書いたものを読み合い、感想を伝え合うことができる。（書	1 2	1 学習の見通しをもつ。 ・1週間の出来事などを知らせるためのニュースコーナーを作ることを決める。 ・どんなことが楽しいニュースになるか話し合う。 2 教材を読み、「今週のニュース」の書き方を確認する。 3 みんなが読みたいくなる題材について考え、日常生活の中からニュースの題材になる出来事をノートに書き出す。	【関】 身近なことを「ニュース」として捉え、みんなに知らせたいことを集めようとしている。 【書】 ・身近な題材を選び、必要に応じて、「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」などを入れて書くとともに、自分の気持ちも添えている。 ・友達のニュースを読み、感想を書いて

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	(1)オ) ■1週間の出来事などを知らせるニュースを書く。 ☆出来事を書いて知らせる。(特別活動・生活科) ☆学校生活、身近な自然、季節の行事などに目を向けさせる題材(生活科)	3 4	4 題材を選んでニュースを書く。 5 ニュースを掲示し、友達と読み合い、感想をカードに書いて伝え合う。 6 学習を振り返る。 ・これからもニュースコーナーにニュースを掲示していく計画を立ててもよい。	伝えている。 【言】 経験したことを伝える言葉の働きに気づいている。
4月 5月	2 じゅんじょに 気をつけて 読もう たんぼぼの ちえ 10時間(読⑩) ◎時間の順序や理由を表す言葉に着目し、様子とそのわけを考えながら説明的な文章を読むことができる。(読(1)イ、伝国(1)イ(ウ)) ◎大事な言葉や文を書き抜き、経験と結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うことができる。(読(1)エ・オ) ■植物の生態について書かれた文章を読む。 ☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材(生活科)	1 2 3 8 9 10	1 学習の見通しをもつ。 ・生き物の不思議を題材にした科学読み物の本を提示し、題名の付け方に着目する。 ・教師の範読を聞き、「たんぼぼのちえについて、どんなじゅんじょでせつめいしているのかに気をつけて読み、わかったことおもったことを書こう」という学習課題を設定する。 2 教材文を読み、初発の感想を交流する。 ・おもしろいと感じたこと、不思議だと思ったこと、初めて知ったことなどを中心に発表し合う。 3 どんなときに、どんな知恵を働かせているか捉える。 ・時を表す言葉に着目する。 ・たんぼぼが変わっていく順序に気をつける。 ・たんぼぼの知恵とそのわけを整理する。 ・文末表現の違いに注意する。 4 たんぼぼの知恵の中から、賢いと思うところをノートに書き抜き、思ったことを書き添える。 5 学習を振り返る。 ・書いた文章を読み合う。 ・P32「たいせつ」を読んで、学習を振り返り、説明的な文章を読むときに気をつけることをまとめる。	【関】 時間の順序に沿って、説明的文章を読もうとしている。 【読】 ・季節を表す言葉、日にち、時間を表す言葉に着目して読んでいる。 ・大事な言葉や文を書き抜き、感じたことと思っただけを書き添えている。 【言】 ・順序を表す言葉を理解している。 ・理由を表す文末表現に気づいている。
5月	かん字の ひろば① 2時間(書②) ◎1年生に配当されている漢字を文の中で正しく使うことができる。(伝国(1)ウ(ウ)) ○絵に描かれた島の様子を想像して、句読点の使い方に気をつけて、文を書くことができる。(書(1)ウ、伝国(1)イ(オ)) ■絵を言葉で説明する。	1 2	1 教材中の漢字の読み方を確認し、海に囲まれた島の様子を想像する。 2 提示された漢字を使い、句点に気をつけて、島の様子を表す文を作る。 3 書いた文を友達と読み合い、同じ漢字を使っても違う文ができることを理解する。	【関】 提示された言葉を使って、文を書こうとしている。 【書】 語と語を適切につないで文を書いている。 【言】 ・句読点を正しく使って文を書いている。 ・提示された漢字を正しく使って文を書いている。
5月	3 ていねいに かんさつして、きろくしよう かんさつ名人に なるう 14時間(書⑭) ◎丁寧に観察し、気づいたことや分かったことを集めることができる。(書(1)ア、伝国(1)イ(ア)) ○観察対象の様子や自分の気づきなどが相手に伝わるように、題名をつけ、工夫して書くことができる。(書(1)イ) ・書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合うことができる。(書(1)オ)	1 2 3 4 10	1 学習の見通しをもつ。 ・生活科などで観察したことを振り返り、気づいたことを話し合う。 ・「かんさつ名人になるために、ていねいにかんさつし、気づいたことをきろくしよう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。 2 P37の作例を読み、観察記録文を書くときに大切なことを整理する。 3 P38の作例を読み比べ、続けて記録していくと、変化の様子がよく分かることを理解する。 4 写真や吹き出し、生活科で学習したことなどを参考にして、観察するものを決め、観察記録文を書く。	【関】 身近なものに関心をもち、動きや様子がよく伝わるように書こうとしている。 【書】 ・詳しく観察し、書くために必要な事柄を集めている。 ・順序に気をつけて、ものの様子や自分の考えを書いている。 ・友達の文章のよいところを見つけて伝え合っている。 【言】 観察したことが言葉によって伝えられることに気づいている。

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	<p>■観察したことを記録する。</p> <p>☆育てている生きものや植物を観察し、分かったことなどを記録する。(生活科)</p> <p>☆身近な動植物の変化や成長の様子への関心を育む題材(生活科・道徳)</p>	11 13 14	<ul style="list-style-type: none"> 観察したことや感じたことを、記録する。 メモをもとに、順序や書き方のポイントに気をつけて書く。 観点を絞って詳しく書き、題名を付ける。 観察したことが読み手に伝わるように書いているか読み返す。 <p>5観察記録文を友達と読み合い、よく観察できているところ、よく表現できているところを「きみはかんさつ名人カード」に書いて交換する。</p> <p>6カードを読み、自分の観察記録文を書き直す。</p> <p>7学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察記録で大切な書くときに大切なことを「かんさつ名人十かじょう」にまとめるなど、学習を振り返られるようにして、教室に掲示する。 	
6月	<p>いなばの 白うさぎ 2時間(伝国②)</p> <p>◎人物の行動を中心に場面の様子を想像しながら、神話の読み聞かせを聞くことができる。(読(1)ウ、伝国(1)ア(ア)・イ(カ))</p> <p>■神話の読み聞かせを聞く。</p> <p>☆郷土への愛着を養う題材(道徳)</p> <p>☆関連読書(図書館活用)</p>	1 2	<p>1知っている昔話や神話について出し合い、神話を聞く意欲を高める。</p> <p>2挿絵から、どんなお話を想像する。</p> <p>3教材文の読み聞かせを聞く。</p> <p>4誰が出てきたか、どんな出来事が起こったかについて話し合う。</p> <p>5P42を見て、日本各地に、その土地に伝わる昔話があることを知る。</p> <p>6自分の住む地方の昔話などに興味をもち、学校図書館などで昔話の本を探して読む。</p>	<p>【関】場面の様子を想像しながら読み聞かせを楽しもうとしている。</p> <p>【読】登場人物の行動を捉え、場面の様子を想像している。</p> <p>【言】主語と述語の関係に注意して、神話の読み聞かせを聞いている。</p>
6月	<p>かたかなの ひろば 2時間(書②)</p> <p>◎片仮名を読んだり、書いたりすることができる。(伝国(1)ウ(ア))</p> <p>○「何が」「どうする」が整った文を書くことができる。(書(1)ウ)</p> <p>■絵を表す文を書く。</p>	1 2	<p>1教科書の絵を見て、動物たちの行動や様子を想像しながら、話をする。</p> <p>21年生の学習を振り返り、長音、促音、拗音、濁音、半濁音を片仮名で表記するときの決まりを確かめる。</p> <p>3絵と片仮名で書かれた言葉を見て、片仮名の言葉を使った文を書く。</p>	<p>【関】提示された片仮名を読み、それが示すものを、楽しみながら絵の中から探そうとしている。</p> <p>【書】主語と述語の整った文を書いている。</p> <p>【言】片仮名を正しく使っている。</p>
6月	<p>ともこさんは どこかな 4時間(話・聞④)</p> <p>◎話の内容に興味をもち、大事なことを聞き落とさないようにしながら、聞くことができる。(話・聞(1)エ)</p> <p>○必要な事柄を選び、声の大きさや速さに注意して、はっきりと話すことができる。(話・聞(1)ウ)</p> <p>○アクセントによる語の意味の違いなどに気づくことができる。(伝国(1)イ(イ))</p> <p>■大事なことを聞き取り、メモを取る。</p> <p>■必要なことについて身近な人と連絡し合う。</p> <p>☆必要なことについて、身近な人と連絡し合う。(日常生活)</p>	1 2 3 4	<p>1学習の見直しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝の会・帰りの会などでお知らせを聞くときに気をつけていることやそのわけを話し合う。 「だいたいなことをおとさずに、話したり聞いたりしよう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。 <p>2音声CDを聞いてともこさんを捜し、聞き落とすと困ることについて話し合う。</p> <p>3聞き落としとしてはいけないことを整理し、それらがお知らせをする側にとっても大切な事柄であることに気づく。</p> <p>4絵の中から人物を選び、二人組になって迷子のお知らせをする。大事なところを落とさずに話したり、聞いたりすることができたかを相互に評価する。</p> <p>5音声CDを聞いてメモを取り、P47の男の子の言葉の内容について話し合う。</p> <p>6遠足の持ち物や明日の用意を友達に連絡し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 話す速さやはっきりした発音を確かめるなど、分かりやすいお知らせの方法を工夫する。 単語や簡単な言葉でメモを取るようにする。 <p>7学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> P47「たいせつ」を読む。 	<p>【関】大事なことは何かを考えながら、聞き取り学習に楽しく参加しようとしている。</p> <p>【話・聞】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大事なことが伝わるように、順序や発音・発声を意識して話している。 何が大事なことなのかを理解し、大事なことを落とさないように、メモを取りながら聞いている。 <p>【言】平仮名で書くと同じ言葉でも、アクセントによって指すものが異なる言葉があることを理解している。</p>

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
6月	同じ ぶぶんをもつ かん字 2時間 (伝国②) ◎漢字には、同じ部分をもつものがあることを知り、部分に注意して漢字を読んだり書いたりすることができる。(伝国(1)ウ(ウ))	1 2	1 漢字の仲間分けクイズをして、漢字の組み立てを考える。 2 漢字の同じ部分に気をつけて例文をノートに視写し、音読する。 3 同じ部分をもつ漢字を巻末の漢字表などから探し、漢字の仲間分けクイズをする。	【関】漢字の同じ部分に関心を持ち、既習の漢字から共通部分を見つけ出そうとしている。 【言】同じ部分をもつ漢字を意識して、読んだり書いたりしている。
6月	4 お話を 読んで、かんそうを 書こう スイミー 10時間 (読⑨、書①) ◎文章の中の大事な言葉や文を書き抜き、それをもとに感想を書くことができる。(読(1)エ・オ、伝国(1)イ(ウ)) ○人物の行動や場面の様子などについて、想像を広げながら読み、感想を書くことができる。(読(1)ウ) ・様子を表す言葉を使って文を書くことができる。(書(1)ウ) ■物語を読んで、感想を書く。	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1 学習の見通しをもつ。 ・P5「いつも気をつけよう」を読み、読むときに気をつけることを確認する。 ・「お話を読んでかんそう文を書こう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。 2 教師の範読を聞き、初発の感想を交流する。 3 教材文を丁寧に読み、感想を書く。 ・P60「お話のながれ」を参考に、「初め」「中」「終わり」に分け、作品の構成を捉える。 ・スイミーの行動や会話に着目して場面の様子を想像する。 ・スイミーに言ってあげたいことを考える。 4 物語を読んだ感想を100字程度で書く。 ・P61の作例を読む。 ・P61の語例やP122「ことばのたからばこ」を参考に、自分の感想にぴったりの言葉を考える。 ・どうしてそのような感想をもったのかわけも考える。 5 友達と感想を読み合い、よいところを見つけて伝え合う。 6 「～のような」「～みたいな」などを使った文を書く。 ・教材文を確認するとよい。 7 学習を振り返る。 ・教材文を楽しく読んだか確認する。 ・P62「たいせつ」を読み、感想をもつときの着眼点を確認する。	【関】主人公の行動や会話に注意しながら物語を読み、感想を書こうとしている。 【読】 ・登場人物の行動や会話から、場面の様子について理解している。 ・大事な言葉や文を書き抜いて、感想を書いている。 ・自分の気持ちに合う言葉で感想をもち、どうして、その感想をもったかを理解している。 【書】たとえを表す言葉を使い、語のつながりに気をつけて文を書いている。 【言】感想を表す言葉を使っている。
6月 7月	かん字の ひろば② 2時間 (書②) ◎1年生に配当されている漢字を文の中で正しく使うことができる。(伝国(1)ウ(ウ)) ・絵から、学校の様子を想像し、語と語の続き方に気をつけて文を書くことができる。(書(1)ウ) ・助詞の「は」「を」を文の中で正しく使うことができる。(伝国(1)イ(エ)) ■絵を見て説明する。	1 2	1 教科書の絵を見て学校の様子を想像したり、漢字の読み方を確認したりする。 2 助詞の「は」「を」を適切に用い、絵の中の漢字を使って文を書く。 3 書いた文を友達と交換し、読み合う。	【関】絵を見て想像を広げて、文を書こうとしている。 【書】語と語を適切につないで、文を書いている。 【言】 ・助詞「は」「を」を正しく使って、文を書いている。 ・提示された漢字を正しく使って、文を書いている。
7月	こんな もの、見つけたよ 【コラム】丸、点、かぎ 8時間 (書⑧) ◎「初め」「中」「終わり」を意識して、自分の思いを書くことができる。(書(1)イ) ◎書いたものを読み合い、感想を伝え合うことができる。(書(1)オ)	1 2 3 4	1 学習の見通しをもつ。 ・「今週のニュース」の学習や生活科で学校探検や町探検をしたことなどを振り返る。 2 知らせたいものや出来事を書き出し、発表し合う。 3 友達に知らせたいものや出来事の一つ選ぶ。 4 P66を参考に、見つけたことや周りの人に尋ねて分かったことなどをメモに取る。 5 P67の作例を読み、自分の文章に生かす。 ・「初め」「中」「終わり」の構成を理解する。	【関】知らせたいことを、興味をもって取材し、文章にまとめようとしている。 【書】 ・構成を意識し、書く事柄の順序を整理して、書いている。 ・語句や文のつながりに気をつけて書いている。 ・友達の文章を読んで、感想を伝え合っている。

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	○文の意味が明確になるように語句や文のつながりを考えて書くことができる。(書(1)ウ、伝国(1)イ(オ)(カ)) ■知らせたいことについて、組み立てを考え、文章にまとめる。	5 7 8	・P69を読み、句読点やかぎの使い方を理解する。 6 書く事柄を順序に沿って整理し、構成を意識して文章を書く。 7 書いた文章を読み返し、間違いなどを正す。 8 書いた文章を読み合い、感想を伝え合う。 ・初めて知ったところや分かりやすかったところを伝え合う。	【言】 ・句読点やかぎの使い方を理解して文章の中で使っている。 ・主語と述語の関係に注意して文を書いている。
7月	うれしい ことば 2時間(書②) ◎人をうれしい気持ちにさせる言葉の働きに気づくことができる。(伝国(1)イ(ア)) ○経験したことから書くことを決め、書こうとする題材に必要な事柄を選ぶことができる。(書(1)ア) ・語と語や文と文の続き方に注意して書くことができる。(書(1)ウ) ☆自分や友達がふだん使っている言葉について意識させる題材(日常生活)	1 2	1 これまでの生活を振り返り、いつ、誰にどんなことを言われたことがうれしかったかを発表する。 2 P70の絵を見て、どんな言葉を言ってもらおうとうれしさを考える。 3 P71の作例を読み、感想を発表する。 4 うれしい言葉の一つを選び、その言葉を題名にして、出来事とそのときの気持ちを三文程度の文章に書く。 5 書いた文章を友達と読み合う。	【関】言われてうれしかった言葉とそのときのことを思い出そうとしている。 【書】 ・自分の経験を思い出して書いている。 ・語と語や文と文の続き方に注意して書いている。 【言】言葉には、人を喜ばせたり、うれしい気持ちにさせたりする働きがあることを理解している。
7月	本はともだち			
	お話クイズをしよう ミリーのすてきなぼうし 【コラム】本の分けかた・ならべかた 6時間(読⑥) ◎お話クイズを作るという目的をもって本や文章を選んで読むことができる。(読(1)カ) ○場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。(読(1)ウ) ・語句を変えることで、言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。(伝国(1)イ(ウ)) ■お話クイズをする。 ☆読書活動(図書館活用)	1 2 4 5 6	1 学習の見通しをもつ。 ・「お話を読んで、お話クイズをつくろう」という学習課題を設定する。 ・P73-75を読み、お話クイズの方法を知る。 ・これまでに読んだ教材や、みんなが知っているような作品から、時間、場所、人物、出来事などの言葉を変えて文を作り、グループの中でクイズを出し合う。 2 「ミリーのすてきなぼうし」を読む。 ・登場人物が何をしたら、どんな出来事があったかを整理する。 ・不思議な出来事が起こることのおもしろさを楽しむ。 3 教材文を使って、お話クイズを作り、クイズを出し合う。 4 P90「本の分けかた・ならべかた」を読む。 5 P89のいろいろな出来事が起こる本などを参考に、学校図書館で本を選んで読み、お話クイズをする。	【関】クイズを作るために、興味をもって本を読もうとしている。 【読】 ・登場人物の行動を中心に場面の様子を想像しながら読んでいる。 ・お話クイズを作るという目的をもって、本を選んで読んでいる。 【言】語句を変えることによって、言葉には意味のまとまりがあることに気づいている。
7月	かん字のひろば③ 2時間(書②) ◎1年生に配当されている漢字を文の中で正しく使うことができる。(伝国(1)ウ(ウ)) ・絵に書かれている漢字と言葉を使い、1週間の出来事を文で書くことができる。(書(1)ウ) ■絵を説明する文を書く。	1 2	1 教科書の絵を見て、それぞれの人物が何をしているかを発表する。 2 絵の中の言葉を組み合わせ、月曜日から日曜日までの出来事を文に書く。 3 書いた文章を友達と交換し、読み合う。	【関】提示された漢字と言葉を使って1週間の出来事を考え、楽しんで文を書こうとしている。 【書】語と語を適切につないで、文を書いている。 【言】提示された漢字を正しく使って、文を書いている。
7月	夏がいっぱい 2時間(書②) ◎夏に関わる言葉を探し、経験と結び付けて文章に表すことができる。(書(1)ア、伝国(1)	1 2	1 教科書の絵を手がかりに、夏に関わる言葉を探す。 2 詩を音読する。 3 どんなものを見たときに、夏の訪れを感じるか発表する。 4 夏を感じたときの経験を文章に書く。	【関】季節の動植物に関わる言葉を楽しんで探している。 【書】夏を感じた経験を思い出して、文章に書いている。 【言】季節の動植物や、季節を感じる言葉

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	イ(ア) ■夏を感じる言葉を探し、経験を文章に表す。 ☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材(道徳・生活科)		・見つけたものやそのときの気持ちなどを、カードに書く。 5書いたものを読み合い、感想を交流する。	探している。
9月	おおきなあれ 2時間(読②) ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて詩を音読することができる。(読(1)ア) ・擬態語があることに気づくことができる。(伝国(1)イ(ウ)) ■音読して、詩を楽しむ。	1 2	1 詩を音読し、繰り返しや呼びかけの表現など、好きなどころについて話し合う。 2 好きなどころのよさが伝わるように、詩をグループで音読し、友達の音読について感想を交流する。	【関】言葉の響きを楽しみながら、いろいろな読み方を工夫して音読しようとしている。 【読】繰り返しや、擬態語の音の響きを楽しみながら音読している。 【言】擬態語があることに気づいている。
9月	大すきなもの、教えたい 5時間(話・関⑤) ◎伝えたいことについて、必要な材料を集め、話す順序を考え、丁寧な言葉遣いで話すことができる。(話・関(1)ア・イ、伝国(1)イ(ア)) ・一音一音を、はっきりと発音し、相手に届く音量で話すことができる。(話・関(1)ウ) ■伝えたいことを発表する。 ☆伝えたいことについて、話す事柄や順序を考えて発表する。(日常生活)	1 2 3 4 5	1 学習の見通しをもつ。 ・P64「こんなもの、見つけたよ」の学習を振り返る。 ・大好きなものを話題にし、発表することを確認する。 2 みんなに伝えたい大好きなものをノートに書き出す。 3 書き出した中から発表したいものを決め、発表するために必要な事柄を考え、カードに書く。 4 P98の作例を読み、自分の発表に生かす。 ・「初め」「中」「終わり」の構成にする。 ・敬体を使って、丁寧な言葉づかいで話す。 5 みんなに聞こえる声で、はっきり話すことを意識して発表の練習をする。 6 発表会を開く。 ・発表に必要なところを、カードを確認しながら発表する。 ・集中して聞き、感想を言ったり質問をしたりする。 7 学習を振り返る。 ・P99「たいせつ」を読む。	【関】大好きなものを伝えようとしている。 【話・関】 ・伝えたいことについて、必要な事柄を集めている。 ・話す順序を考えて、敬体を使って話している。 ・みんなに聞こえる声で話している。 【言】事物の内容を表したり、経験を伝えたりする言葉の働きに気づいている。
9月	カンジーはかせの大はつめい 2時間(伝国②) ◎クイズを通して、漢字の構成や熟語について理解することができる。(伝国(1)ウ(ウ)) ■漢字クイズをする。	1 2	1 漢字を合体させる機械の仕組みを理解し、設問に取り組む。 2 弓矢の問題の解き方を理解し、設問に取り組む。 3 グループごとに問題を作り、漢字クイズ大会を開く。	【関】漢字に興味をもち、いろいろな面から考えようとしている。 【言】漢字クイズに提示された漢字を、正しく読んだり書いたりしている。
9月	ことばあそびをしよう 1時間(伝国①) ◎平仮名を組み合わせて、意味のある言葉を作ることができる。(伝国(1)イ(イ)) ○意味のまとまりに気をつけて、声に出して読むことができる。(伝国(1)イ(イ)(ウ)) ■折り句や言葉遊びの詩を楽しむ。	1	1 「あいうえお」「あかさたな」の作例を音読し、学習内容を確認する。 2 「あいうえお」「あかさたな」を使って文を作り、発表する。 3 「ののはな」「ことこ」を、どこで区切ったらよいかを考えて何度も音読して楽しむ。	【関】折り句を作ったり、言葉遊びの詩を音読したりして楽しもうとしている。 【言】音節と文字の関係やアクセントによる語の意味の違いに気づいている。
9月	5 読んで考えたことを 話そう どうぶつ園のじゅうい 12時間(読⑨、書③) ◎文章の中の大事な言葉や文を書き抜き、自分の知識や経験	1 2	1 学習の見通しをもつ。 ・P24「たんぼのちえ」、P50「スイミー」で、感想の書き方を学習したことを思い出す。 ・「読んで考えたことや、気づいたことをかんそう	【関】自分の知っていることと結び付けて説明的な文章を読もうとしている。 【読】 ・何について、どのようなことが、どの

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	<p>と結び付けて感想をまとめ、発表し合うことができる。(読(1)エ・オ, 伝国(1)イ(ウ))</p> <p>○時間的な順序を考えながら獣医の仕事やそのわけを読み取ることができる。(読(1)イ)</p> <p>○条件に沿って、経験したことをもとに書くことを決め、簡単な構成の文章を書くことができる。(書(1)ア・イ)</p> <p>■説明的な文章を読んで、考えたことを話す。</p> <p>☆働くことの価値や意味を理解する精神を養う題材。身近な動物に優しい心で接する態度を養う題材(道徳)</p>	3 6 7 9 10 12	<p>にまとめて話そう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。</p> <p>2 教材文を読み、初発の感想を書く。</p> <p>3 教材文の内容を整理する。</p> <p>・時間の順序に気をつけて獣医がいつ、どんな仕事をするかを確かめる。</p> <p>・「いつもすること」と「ある日、特別にすること」を確かめる。</p> <p>・獣医がその仕事をしたわけと、仕事の工夫を見つめる。</p> <p>4 感想をまとめる。</p> <p>・獣医の仕事について、自分の知識や体験と比べながら考えたことや気づいたことを書く。</p> <p>5 書いたものをもとに、感想を発表し合う。</p> <p>6 P114「たいせつ」を読み、学校での一日を、自分がしたことの順番が分かるように家族に伝える文章を書く。</p> <p>7 学習を振り返る。</p> <p>・どんなことに気をつけて話したかを振り返る。</p>	<p>ような順序で述べられているかを理解している。</p> <p>・自分の考えをもつために、大事な言葉や文を書き抜いている。</p> <p>・知識や体験と比べて感想をまとめている。</p> <p>【書】時間の順序に沿って、自分のしたことが分かるように書いている。</p> <p>【言】時間の順序を表す言葉を理解している。</p>

2年下巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
10月	<p>1 音読げきをしよう</p> <p>お手紙 12時間(読⑩, 書②) ◎場面の様子について、登場人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読み、声の出し方などを工夫して音読劇をすることができる。(読(1)ア・ウ, 伝国(1)イ(カ))</p> <p>○手紙を書く楽しさを知り、物語の登場人物に言ってあげたいことを手紙に書くことができる。(書(1)ア・イ)</p> <p>・物語を読み、自分の経験と結び付けて、感想を発表し合うことができる。(読(1)オ)</p> <p>■音読劇をする。</p> <p>☆手紙を書く。(生活科)</p> <p>☆関連読書(図書館活用)</p>	1 2 3 4 5 6 7 9 10 12	<p>1 学習の見直しをもつ。</p> <p>・扉の詩を読み、目次を見て、下巻の国語の学習を見通す。</p> <p>・教師の範読を聞き、「がまくんとかえるくんになって音読げきをたのしもう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。</p> <p>・「がまくんとかえるくん」シリーズの本を紹介し、並行読書を促してもよい。</p> <p>2 教材文を読み、大まかな内容をつかむ。</p> <p>・場所の移り変わりに着目して、場面分けをする。</p> <p>・二人の行動と会話を、線を引くなどして場面ごとに整理する。</p> <p>3 音読したいところを決め、ノートに書き写して、読み方や動きなどを考えて書き込む。</p> <p>4 グループで音読劇の練習をして、読み方の工夫や動きについて意見を伝え合う。</p> <p>5 友達の助言や教師が示したさまざまな読み方を聞き、音読のしかたによって受ける印象が違うことを知り、自分の音読のしかたを考え直す。</p> <p>6 音読劇を発表し、評価を伝え合う。</p> <p>7 登場人物が、書いてあることが分かっている手紙を長い間待っていたわけを考えて、話し合う。</p> <p>8 学習を振り返る。</p> <p>・P20「たいせつ」を読み、音読劇をするためにしたことや工夫したことを振り返る。</p> <p>9 これまでに手紙をもらったり書いたりしたことを思い出し、登場人物に向けて手紙を書く。</p>	<p>【関】自分が感じた物語のおもしろさが伝わるように、音読劇をしようとしている。</p> <p>【読】</p> <p>・人物の様子や気持ちを想像し、物語の様子が伝わるように工夫して音読している。</p> <p>・登場人物の行動や出来事から場面の様子を想像し、お気に入りの場面を見つけている。</p> <p>・自分の音読と友達の声を聞き比べて、感想を深めている。</p> <p>【書】手紙のよさに気づいて、自分の思いを手紙に書いている。</p> <p>【言】主語と述語の関係を理解している。</p>
10月	<p>主語と述語 2時間(伝国②) ◎読み物や、自分がこれまでに</p>	1 2	<p>1 例文や「お手紙」を読み、主語・述語の役割を知る。</p> <p>2 読むときには、主語・述語に気をつけることが大切であることを確認する。また、話すとき、書く</p>	<p>【関】主語と述語の関係とその役割に興味をもち、身近な文章から主語と述語を見つけ出そうとしている。</p>

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	書いてきたものにも主語・述語があることに気づき、文の中や生活の中での主語・述語の関係を理解することができる。(伝国(1)イ(カ))		ときにも、主語・述語をはっきりさせることが大切だということを知る。 ・P22の設問で確認するとよい。 3 主語・述語について、分かったことを振り返る。	【言】文が主語と述語で構成されていることを知り、読むときや話すとき、書くときには、主語と述語のつながりが大切であるということを理解している。
10月	かん字の読み方 2時間(伝国②) ◎漢字にはいろいろな読み方をするものがあることを理解し、文の中で正しく使うことができる。(伝国(1)ウ(ウ))	1 2	1 「九」と「日」について教科書に出ている読み方をノートに書く。 2 「上」と「下」の読みを確かめ、読み方によって送り仮名が変わることを知る。 3 P145「これまでにならったかん字」から複数の読み方がある漢字を探し、文を作って発表する。 4 学習を振り返る。	【関】同じ漢字でも違う読み方をするものがあることに興味をもち、読み方を確かめようとしている。 【言】いろいろな読み方をする漢字があることを知り、送り仮名を考えて、正しく読んだり書いたりしている。
10月	秋がいっぱい 2時間(書②) ◎秋に関わる言葉を探し、経験と結び付けて文章を表すことができる。(書(1)ア, 伝国(1)イ(ア)) ■秋を感じる言葉を探し、経験を文章に表す。 ☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材(道徳・生活科)	1 2	1 教科書の絵を手がかりに、秋に関わる言葉を探す。 2 「まっかな秋」を音読する。 3 どんなものを見たときに、秋の訪れを感じるか発表する。 4 秋を感じたときの経験を文章に書く。 ・見つけたものやそのときの気持ちなどを、カードに書く。 5 書いたものを読み合い、感想を交流する。	【関】季節の動植物に関わる言葉を楽しんで探している。 【書】秋を感じた経験を思い出して、文章に書いている。 【言】季節の動植物や、季節を感じる言葉を探している。
10月	2 まとまりに分けて、お話を書こう			
11月	お話のさくしゃになろう 10時間(書⑩) ◎絵を見て想像したことから書くことを決め、「初め」「中」「終わり」のまとまりのある短い物語を書くことができる。(書(1)ア・イ) ○物語を読み合い、感想を交流することができる。(書(1)オ) ・書いた物語を読み返して、誤字・脱字を直したり、句読点、助詞、かぎの使い方を正したりすることができる。(書(1)エ, 伝国(1)イ(エ)(オ)) ■物語を創作する。 ☆想像したことなどから、表したいことを見つけて表す。(図画工作)	1 2 3 4 7 8 9 10	1 学習の見通しをもつ。 ・今までに学校で読んだ物語の題名と、その作者を結び付けるクイズをして、「作者」の存在に気づく。 ・「まとまりに気をつけて、お話を書こう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。 2 挿絵を見ながら、設定を決める。 ・登場人物の名前と人物像を決める。 3 どのような出来事が起こるお話を考える。 ・考えたことを友達に説明する。 3 登場人物の行動や会話を考えて、お話を書く。 ・「初め」の書きだしを考える。 7 「中」の出来事を、登場人物の行動や会話に分かるように、表現を考えて書く。 ・「終わり」を考え、題名を決める。 ・書いたものを友達と読み合い、助言し合う。 4 書いたものを声に出して読み、分りにくいとこ ろや誤字・脱字を直して清書する。 5 完成した物語を読み合い、感想を伝え合う。 6 学習を振り返る。	【関】絵から想像を広げ、どんなお話にするか、楽しんで考えようとしている。 【書】 ・登場人物を設定し、出来事や会話を想像してお話にまとめている。 ・「初め」「中」「終わり」を考えて、物語を構成している。 ・読み返し、間違いに気づいたところを直している。 ・物語を読み合い、感想を伝え合っている。 【言】句読点や助詞、かぎを正しく使っている。
11月	かたかなで書くことば 2時間(書②) ◎片仮名で書く言葉の種類を知り、片仮名を使った文を書くことができる。(書(1)ウ, 伝国(1)ウ(ア)) ■片仮名を使った文を作る。	1 2	1 片仮名を使って表記する言葉の種類を知り、片仮名で表す言葉を集める。 2 P35の絵を見て、片仮名を使った文を書く。	【関】片仮名で書く言葉に興味をもち、片仮名で表す言葉をたくさん集めようとしている。 【書】主語・述語の整った文を書いている。 【言】片仮名で書く言葉の種類を理解し、片仮名を正しく使っている。
11月	3 せつめいのしかたに 気をつけて読もう			
	しかけカードの作り方 6時間(読⑥) ◎順序を考えて教材文を読み、説明のしかたについて考える	1	1 学習の見通しをもつ。 ・P36の写真を見て、「しかけカード」がどんなものか知る。 ・教材文を読み、「上手なせつめいのしかたを見つ	【関】しかけカードの作り方に興味をもち、どのように書かれているかを整理しようとしている。 【読】

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	<p>ことができる。(読(1)イ)</p> <p>○言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。(伝国(1)イ(ウ))</p> <p>■物の作り方を説明した文章を読む。</p> <p>☆遊びに使う物を工夫して作ることに目を向けさせる題材(生活科)</p> <p>☆関連読書(図書館活用)</p>	2 3 4 5 6	<p>けよう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。</p> <p>・工作やゲームのしかたなどを説明した本を図書館などで探して読むよう促してもよい。</p> <p>2 教材文を読んで、カードを作り、気をつけて読んだところや繰り返し読んだところに線を引いて、友達と比べる。</p> <p>3 カード作りの作業を振り返り、説明を分かりやすくしている言葉や書き方の工夫を箇条書きで整理する。</p> <p>4 学習を振り返る。</p> <p>・P41「たいせつ」を読み、分かりやすい説明のしかたを確かめる。</p>	<p>・手順や事柄の順序などに気づいて読んでいる。</p> <p>・写真と文を照応させながら読んでいる。</p> <p>【言】順序を表す言葉や表現の意味を理解している。</p>
11月	<p>おもちゃの作り方</p> <p>6時間(書⑥)</p> <p>◎説明の順番を考え、言葉のまとまりに気をつけながら文章を書くことができる。(書(1)イ・ウ、伝国(1)イ(ウ))</p> <p>○文章を読み返し、間違いなどを正すことができる。(書(1)エ)</p> <p>・おもちゃの作り方の説明書を書くために、必要となる事柄を集めることができる。(書(1)ア)</p> <p>■絵と文で作り方を説明する。</p> <p>☆絵と文で、物の作り方を説明する。(生活科・日常生活)</p> <p>☆遊びに使う物を工夫して作ることに目を向けさせる題材(生活科・図画工作)</p>	1 2 3 4 5 6	<p>1 前教材の学習を振り返り、そこで学んだ分かりやすい説明のしかたを使って「手作りおもちゃの作り方をせつめいしよう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。</p> <p>2 生活科や図画工作の授業で作ったおもちゃの中から題材を選び、使った材料や道具をカードに書き出す。</p> <p>3 作例を読み、前単元でまとめた分かりやすい説明のしかたが使われているところを見つける。</p> <p>4 学習した説明のしかたを活用して、説明書を書く。</p> <p>・自分が選んだおもちゃの作り方について、作業のまとまりごとにカードなどに書く。</p> <p>・作例の説明を参考に、説明の順序や、絵や写真の入れ方などについて、友達と意見を交流する。</p> <p>・カードをもとに、下書きをする。</p> <p>・文章を読み返し、誤字・脱字などに気をつけて、清書する。</p> <p>5 完成した文章を友達どうして読み合い、感想を伝え合う。</p>	<p>【関】学習したことを生かし、分かりやすくおもちゃの作り方を説明しようとしている。</p> <p>【書】</p> <p>・説明書を書くために必要な事柄を集めている。</p> <p>・内容のまとまりを考え、手順に沿って書いている。</p> <p>・絵と対応させながら、文のつながりを意識して書いている。</p> <p>・書いた説明書を読み返し、間違いなどを正している。</p> <p>【言】まとまりを意識して、順序を表す言葉を用いている。</p>
11月 12月	<p>4 組み立てを考えて、はっぴょうしよう</p> <p>あったらいいな、こんなもの</p> <p>14時間(話・関④)</p> <p>◎自分が考えた道具について、相手に分かるように、話す事柄の順序を考え、声の大きさや速さなどに気をつけて、丁寧な言葉で話すことができる。(話・関(1)ア・イ・ウ、伝国(1)イ(ア))</p> <p>・大事なことを聞き落とさないように気をつけながら友達の話を聞き、感想を述べたり、質問をしたりすることができる。(話・関(1)エ)</p> <p>・互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うことができる。(話・関(1)オ)</p> <p>■尋ねたり応答したりする。</p> <p>■自分の考えた事物の説明をしたり、説明を聞いて感想を述べたりする。</p> <p>☆伝えたいことについて、話す事柄や順序を考えて発表する。(日常生活)</p>	1 2 3 4 5 6 7 9 10 11 12	<p>1 学習の見直しをもつ。</p> <p>・「あったらいいな」と思うものについて話し合う。</p> <p>・『あったらいいな、こんなもの』はっぴょう会をひらこう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。</p> <p>2 「あったらいいな」と思うものを考えて、絵に描く。</p> <p>3 考えた道具の形や色、大きさ、働き、あったらいいと思うわけなどについて、二人組になって質問し合う。</p> <p>・音声CDを聞くとよい。</p> <p>4 友達の質問を参考に、道具の説明をカードに書く。</p> <p>5 分かりやすい発表をするために気をつけることを話し合う。</p> <p>6 P49のメモを見て、何が、どのように書かれているかを整理する。</p> <p>7 6で整理したことを参考に、「中」に書く事柄をカードから選んで発表用のメモを書く。</p> <p>8 「初め」と「終わり」に話すことを決め、メモに整理し、声に出して読み、構成を確かめる。</p> <p>9 声の大きさ、視線の動かし方、話す速さについて気をつけることを考える。</p> <p>10 二人組になって発表の練習をし、構成や声の出し方などについて、意見を交流する。</p> <p>11 発表会を開き、お互いに質問をしたり感想を伝え</p>	<p>【関】相手に分かるように話したり、友達の考えたものについて聞こうとしたりしている。</p> <p>【話・関】</p> <p>・身近なところから想像を広げ、説明のために必要なことを考えている。</p> <p>・相手に分かりやすいよう話す順序を考え、発表している。</p> <p>・声の大きさ、速さ、顔の向きなどに注意して話している。</p> <p>・友達の話を聞き、質問をしたり、感想を述べたりしている。</p> <p>・目的を考えてやり取りをしている。</p> <p>【言】事物の形や働きを表す言葉の働きに気づいている。</p>

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
		13 14	たりする。 ・音声CDを聞いて、参考にとよい。 12学習を振り返る。 ・発表するときのポイントを整理する。	
12月	にた いみのことば、はんたいの いみのことば 2時間(伝国②) ◎類義語や対義語に興味をもち、言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。(伝国(1)イ(ウ))	1 2	1「なかまのことばさがし」と「はんたいのことばさがし」をして、似た意味の言葉と反対の意味の言葉に興味をもつ。 2P52を読み、教材中の言葉の類義語を考える。 3P53を読み、反対の意味をもつ言葉を考え、発表する。	【関】日頃使っている言葉の中から、類義語と対義語を見つけようとしている。 【言】言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づき、類義語と対義語を集めている。
12月	5 じんぶつと自分をくらべて読もう			
	わたしはおねえさん 10時間(読⑩) ◎登場人物の行動を捉えて想像を広げながら読み、自分の経験と結び付けて、感想をもつことができる。(読(1)ウ・オ、伝国(1)イ(カ)) ・文章の中の大事な文や言葉を書き抜き、あらすじをまとめることができる。(読(1)エ) ■あらすじを紹介する。	1 2 4 5 6 7 8 9 10	1学習の見通しをもつ。 ・題名を読み、1年生のときの自分と比べて「お姉さん、お兄さんになったな」と思うことについて話し合う。 ・「自分とくらべて読んだかんそうをしようかいしよう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。 2題名の「わたし」が、「すみれちゃん」であることを確かめ、人物像をまとめる。 3登場人物の行動を、時間に沿ってノートに書く。 4「すみれちゃん」の言動について話し合う。 ・「かりんちゃん」への思いに気づく。 5「すみれちゃん」の言動で、いちばん心に残ったところをノートに書き抜き、心に残った理由と、自分と比べて考えたことをまとめる。 6自分の心に残ったところを伝えるあらすじを書くために、必要な事柄をお話の中から選ぶ。 7P67の作例を参考に、家の人に教材文のあらすじを紹介する文を書く。 ・自分と比べて思ったことも言えるように、ノートに書いておく。 87で書いた紹介文を友達と読み合い、共通点や相違点に目を向けて、意見を交流する。 9学習を振り返る。 ・登場人物と自分を比べて読むことについて確かめる。	【関】登場人物と自分を比べたり、重ねたりしながら、興味をもって物語を読もうとしている。 【読】 ・時、場所、人物、出来事などに注意して、物語の大筋を読み取っている。 ・心に残った言葉や文を書き抜き、自分の経験を思い出し、登場人物と似ているところや近いところ、違うところを見つけている。 ・自分の感想の中心が明確になるように、文章から大事な文や言葉を選び、お話の流れが分かるあらすじをまとめている。 【言】主語と述語の関係に注意して、文章を読んでいる。
12月	かん字の広場④ 2時間(書②) ◎1年生に配当されている漢字を文の中で使うことができる。(伝国(1)ウ(ウ)) ・数を表す言葉を使って、つながりのある文を書くことができる。(書(1)ウ) ■絵と対応する文を書く。	1 2	1数を表す言葉を使って、絵の中の人や物、生き物の様子を表す話を考えて発表する。 2数詞に気をつけながら、数を表す言葉を組み合わせ、算数の問題を作る。	【関】数を表す言葉を使って、楽しみながら算数の問題を作ろうとしている。 【書】語と語のつながりや数詞に気をつけながら、算数の問題を作っている。 【言】提示された漢字を正しく使って、文を書いている。
12月	冬がいっぱい 2時間(書②) ◎冬に関わる言葉を探し、自分の経験と結び付けて文章に表すことができる。(書(1)ア、伝国(1)イ(ア)) ■冬を感じる言葉を探し、経験を文章に表す。	1 2	1教科書の絵を手がかりに、冬に関わる言葉を探す。 2「ゆき」を音読する。 3どんなものを見たときに、冬の訪れを感じるか発表する。 4冬を感じたときの経験を文章に書く。 ・見つけたものやその時の気持ちなどを、カードに書く。 5書いたものを読み合い、感想を交流する。	【関】季節の動植物に関わる言葉を楽しんで探している。 【書】冬を感じた経験を思い出して、文章に書いている。 【言】季節の動植物や、季節を感じる言葉を探している。

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材（道徳・生活科）			
1月	てのひらを太陽に 2時間（読②） ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて、詩を音読することができる。（読(1)ア、伝国(1)イ(ア)） ■詩を音読する。	1 2	1 詩の題名から受け取った印象について話し合う。 2 一人で音読したり、グループで音読したりしながら、詩のイメージに合う読み方の工夫を考える。 3 2で考えたことを生かして音読し、感想を伝え合う。	【関】 詩に書かれた内容や、言葉のリズムを楽しみながら音読しようとしている。 【読】 語のまとまりや言葉の響きを意識しながら、音読している。 【言】 詩の中の言葉について、その印象を別の言葉を使って表している。
1月	ようすをあらわすことば 4時間（書②、伝国②） ◎さまざまな様子を表す言葉について知り、言葉への興味を広げることができる。（伝国(1)イ(ア)(ウ)） ・語と語のつながりに注意して、文を書くことができる。（書(1)ウ）	1 2 3 4	1 教科書の写真を見て、雨の様子にぴったりと合う言葉をノートに書いて発表する。 2 P74～P76の雨の降り方について表した文を読み、それぞれの文から受ける印象を話し合う。 ・オノマトペを使ったり、形容詞を使ったり、比喩表現を使ったりすることで、雨の降り方について、さまざまに表現することができることを確かめる。 3 P77の絵に表されている様子を、オノマトペや副詞（形容詞）、比喩表現を使って短文を作る。 4 作った短文を発表し、学習を振り返る。	【関】 様子を表す言葉に興味をもち、さまざまな表現を探そうとしている。 【書】 様子を表す言葉を適切に使って、つながりのある文を書いている。 【言】 3種類の様子を表す言い方を知り、その使い方を理解している。
1月	見たこと、かんじたこと 5時間（書⑤） ◎経験したことから書く題材を決め、教科書の例を参考に、短い詩を書くことができる。（書(1)ア） ・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づき、詩の中で適切に使うことができる。（伝国(1)イ(ウ)） ■詩を創作する。	1 2 3 4 5	1 学校行事や友達や家族との交流、自然とのふれ合いなどを振り返り、心が動いた出来事を発表し、「わくわく、どきどきを詩でつたえよう」という学習課題を設定する。 2 生活の中で心が動いた経験を振り返り、詩の題材となるものを選んで、詩を創作する。 3 「ようすをあらわすことば」で学習したことを振り返り、教科書の四つの詩を音読し、対象を擬人化しているところや、オノマトペを使うことの効果を確かめる。 4 43で整理したことをもとに、自分が書いた詩を見直し、よりよい詩になるように書き直す。 5 書いた詩を読み合い、感想を伝え合う。	【関】 経験したことを短い詩に表そうとしている。 【書】 必要な事柄を集めて、経験したことを詩に表している。 【言】 心の動きを的確に表す言葉を探して、詩の創作に生かそうとしている。
1月	三まいのおふだ 1時間（読①） ◎興味をもって読み聞かせを聞き、登場人物の行動を中心に想像を広げ、感想を伝え合うことができる。（読(1)ウ・オ、伝国(1)ア(ア)・イ(カ)） ■昔話の読み聞かせを聞く。	1	1 題名を読み、挿絵の中にあるお札を探し、お札がどのような役割を果たしているか想像したことを伝え合う。 2 挿絵を見ながら、教材文の読み聞かせを聞く。 3 挿絵を見てお話を振り返り、いちばんおもしろいと思ったところを教科書に示された話型に沿って伝え合う。	【関】 場面の様子を想像しながら、読み聞かせを楽しもうとしている。 【読】 ・登場人物の行動を捉え、場面の様子を想像しながら読み聞かせを聞いている。 ・お話の中でいちばんおもしろかったことを伝え合っている。 【言】 ・楽しみながら昔話の読み聞かせを聞いている。 ・主語と述語の整った文で感想を伝え合っている。
1月	6 知っていることとつなげて読もう			
	おにごっこ 10時間（読⑩） ◎身近な遊びを説明する文章を読み、自分の経験と結び付けて、思いや考えを発表することができる。（読(1)オ） ◎説明の順序にしたがって文章を読み、書かれている内容を	1 2	1 学習の見通しをもつ。 ・おにごっこの人気ランキングを調べるなどして、おにごっこの遊び方について書いてある文章を読み興味づけをする。 ・「自分が知っていたり、したことのあるおにごっこのくふうをさぐる」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。 2 教材文を読み、知っていることと初めて知ったこ	【関】 身近な遊びの様子を思い出しながら、説明的な文章を読もうとしている。 【読】 ・文章の中から、問いとそれに対応する答えを見つけて、表に整理している。 ・自分の経験と書かれていることとを比べながら文章を読んでいる。 【言】 人の動きを表す言葉を理解している。

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	整理することができる。(読(1)イ) ・人の動きを表す言葉に気づくことができる。(伝国(1)イ(ウ)) ■身近な遊びの工夫について説明した文章を読む。 ☆経験と結び付けながら、物事の仕組みを理解する。(体育・日常生活) ☆状況やメンバーに応じて、遊びやゲームの決まりを工夫する。(体育・日常生活) ☆関連読書(図書館活用)	3 4 5 6 7 8 9 10	とが書かれているところを確かめる。 ・人の動きを表す言葉にも着目させる。 3 P88を参考に、問いかけの文が二つあることに気づき、それを説明している文章に着目し、遊び方とその工夫を書き出す。 4 3 でまとめた中から工夫点について、P89の四つの観点を参考に、グループで意見を交流し、話し合ったことをまとめる。 5 おにごっこや、他の遊びで工夫していることを発表する。 6 おにごっこをより楽しくするための工夫について、グループで話し合って発表する。 7 学習を振り返る。 ・自分の知っていることや経験とつなげることで、具体的に思い出しながら読むことができることを確かめる。 ・いろいろな遊びについて紹介した本を学校図書館などで探して読む計画を立ててもよい。	
2月	かん字の広場⑤ 2時間(書②) ◎1年生に配当されている漢字を文の中で正しく使うことができる。(伝国(1)ウ(ウ)) ○絵を見て主語と述語のつながりに気をつけて文を書くことができる。(書(1)ウ、伝国(1)イ(カ)) ■絵を説明する文を書く。	1 2	1 教科書の絵を見て、公園にいる人や生き物の行動や様子を、発表する。 2 絵の中の言葉を組み合わせ、主語と述語の整った文を書く。	【関】 提示された漢字を使って、絵に描かれた公園の様子を詳しく文に書こうとしている。 【書】 語と語のつながりに気をつけて、文を書いている。 【言】 ・主語と述語の関係に気をつけて、文を書いている。 ・提示された漢字を正しく使って、文を書いている。
2月	みんなできめよう 8時間(話・聞⑧) ◎互いの話を注意して聞き合い、話題に沿って話し合うことができる。(話・聞(1)オ) ○考えを伝える言葉の働きに気づくことができる。(伝国(1)イ(ア)) ■グループで話し合って考えをまとめる。 ☆話題に沿って話し合い、考えを一つにまとめる。(特別活動・学校行事)	1 2 3 4 5 6 7 8	1 学習の見直しをもつ。 ・これまでの話し合いの様子を振り返り、気づいたことを発表する。 ・「話し合いのしかたをたしかめて、みんなで話し合おう」という学習課題を設定する。 2 話し合いのときに気をつけてきたことを振り返り、教材文を読み、話し合いのしかたを確かめる。 3 音声CDを聞いて、話し合いをするときに気をつけることを確かめる。 ・司会者の言葉や考えを言うときや聞くときの言葉を聞き取り、整理する。 ・質問するときや同意するときの言葉を聞き取り、整理する。 4 話し合いのポイントをまとめる。 5 学級で話題を決めて、話し合う。 ・話し合いのポイントを振り返りながら、グループで確認する。 ・話し合うことを決める。 ・司会を決めて話し合う。 ・話し合ったことを確かめる。 6 話し合いの様子をグループで評価する。 7 学習を振り返る。 ・まねしてみたい話し方、聞き方の人はいたか。 ・これからの話し合いで気をつけたいことをまとめる。	【関】 話し合って何かを決めるときに、気をつけることを考えようとしている。 【話・聞】 ・話題について、自分の考えをもって発表している。 ・友達の話最後まで聞き、自分の意見に理由を添えて発言している。 ・話し合いのルールに沿って、自分の考えを積極的に発表している。 【言】 考えたことを伝える言葉の働きに気づいている。
2月	なかまのことばとかん字 2時間(伝国②) ◎仲間の言葉や漢字を知り、意味のまわりに着目して、言	1	1 教科書の言葉をカードに書いて黒板に掲示し、言葉の仲間分けゲームをする。 2 仲間に分けた理由を発表し、仲間分けの観点を整理する。	【関】 言葉の仲間分けに興味をもち、漢字と関係づけて覚えようとしている。 【言】 言葉には同類のもの、反対になるものなどがあることを知り、漢字を正しく

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	葉を集めたり、仲間分けをしたりすることができる。(伝国(1)イ(ウ))	2	3 グループで言葉を集め、言葉の仲間分けクイズを作って交流する。 ・漢字を使って書けるものは、使う。	使っている。
2月 ～ 3月	7 お話を、そうぞうしながら読もう スーホの白い馬 12時間 (読⑫) ◎場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。(読(1)ウ) ○物語から心に残った言葉や文を書き抜き、自分の経験と結び付けて、感想をまとめ、交流することができる。(読(1)エ・オ) ・複合語の語感や意味の違いに気づくことができる。(伝国(1)イ(ウ)) ■場面の様子を想像しながら物語を読む。 ☆世界の文化や風土などへの理解、国際協調の精神を養う題材(道徳) ☆関連読書(図書館活用)	1 2 3 7 8 10 11 12	1 学習の見通しをもつ。 ・2年生の学習から、想像を広げながら読んだ経験を振り返る。 ・「お話を、そうぞうを広げながら読もう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。 ・「この本、読もう」の本を中心に、昔話や各地に伝わる話を読んでもよい。 2 P99の挿絵を見て、お話の舞台となる場所について想像したことを話し合う。 3 教材文を読んで、初発の感想を書き、強く心に残ったことをグループで伝え合う。 4 話の順序に沿って、人物のしたこととそのわけをまとめる。 ・P115上段の表のように、人物の言動をまとめ、様子を想像する。 ・人物の言動のわけについて考え、まとめる。 ・どうしてそう考えたかをグループで話し合う。 5 想像を広げるために、どんなところに気をつけて読んだかを確認する。 6 5で確かめたことに気をつけて教材文を読み直し、初めの感想と比べて変わったところを発表する。 7 「複合語の語感の違い」について話し合う。 8 学習を振り返る。 ・想像して読むことの楽しさを確かめる。 ・並行読書をした本があれば、読んだ本を紹介する。	【関】想像を広げて読むことの楽しさに気づき、物語を読もうとしている。 【読】 ・登場人物の行動から、場面の様子を想像して読んでいる。 ・物語を読んで心に強く残ったことを書き抜き、感想をまとめている。 ・初めの感想と詳しく読んだ後の感想を比べ、感想の変化に気づいている。 【言】複合語の語感の違いに気づいている。
3月	ことばを楽しもう 1時間 (伝国①) ◎回文を楽しみ、言葉のおもしろさに気づくことができる。(伝国(1)イ(ウ)) ■回文遊びを楽しむ。	1	1 教科書の回文を音読して、どんな決まりがあるかを考える。 2 回文の仕組みを知り、簡単な回文作りを楽しむ。	【関】回文の楽しさに気づき、楽しんで回文を音読しようとしている。 【言】教科書の回文に隠れている語に気づき、回文の仕組みに気づいている。
3月	8 できごとや気持ちがつたわるように書こう 楽しかったよ、二年生 14時間 (書⑭) ◎2年生の思い出の中から書くことを決め、書こうとする題材に必要な事柄を集めることができる。(書(1)ア) ○楽しかったことの中心が明確になるように、「初め」「中」「終わり」の構成でまとまりのある文章を書くことができる。(書(1)イ・ウ) ○長音・拗音・促音・撥音などの表記や、助詞や句読点の使い方に気をつけて、文章を推敲することができる。(書(1)エ、伝国(1)イ(エ)(オ)) ■経験したことを報告する文章を書く。 ☆1年間の生活を振り返り、楽	1 2 3 4 5 6 7 8 10 11	1 学習の見通しをもつ。 ・楽しかった思い出を話し合う。 ・「2年〇組 思い出文しゅうを作ろう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。 2 1年間の学校での出来事をカードに書いて黒板に掲示し、その中から書く事柄を考える。 3 書きたいと思った題材を選び、その出来事の中でいちばん伝えたいことをノートに書き出す。 4 いちばん伝えたいことをより詳しくするために必要な事柄を、友達と話したり、ノートを見たりして思い出し、カードや付箋などに書き出す。 5 P122の作例を読んで、P121のカードなどに書かれた事柄が、それぞれ「初め」「中」「終わり」のどこに使われているかを確かめる。 6 「中」と「終わり」にどの事柄を書くか、カードを動かしながら考える。 7 カードを見ながら、事柄と事柄のつながりに気をつけて、文章の下書きをする。 8 書いたものを声に出して読み、読みにくいところ	【関】2年生の生活を振り返り、楽しかったことやがんばったことを思い出し、文章に書き表そうとしている。 【書】 ・ノートを見たり、友達と話したりして、書きたい題材に必要な事柄を集めている。 ・「初め」「中」「終わり」の構成で文章を書いている。 ・文と文のつながりに気をつけて書いている。 ・文章を声に出して読み返し、読みにくい部分や間違いを書き直している。 【言】助詞や句読点、かぎを正しく使っている。

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	しかったことやがんばったことを思い出し、経験を報告する文章を書く。(特別活動) ☆自分の成長を振り返り、できるようになったことなどを実感させる題材(生活科)	12 13 14	や間違っているところを書き直し、清書する。 ・漢字や片仮名が正しく使えているか。 ・助詞などが正しく使えているか。 ・句読点やかぎは正しく使えているか。 9 友達と読み合って、感想を交流する。書いた文章を文集にまとめるなどしてもよい。 10 学習を振り返る。 ・気持ちの伝わる文章の書き方を整理する。	